（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	令和 4 年 12月 8 日（木曜日） 10 時 12分頃						天候		晴	
災害の程度	死亡 名		負傷 1 名		職種 組立工		年令 23才		経験年数2年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下		崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ		感電	その他
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況	［件　　名］ 傾斜した仮設材上で滑り右足首を受傷
	［作業内容］ 仮設橋撤去工事
	［発生状況］ 仮設橋撤去作業時、玉掛けワイヤを運搬するため、傾斜地に置いてあった仮設材（鋼製マット）に右足を載せた際に滑って転倒し、仮設材を滑り落ち右足首をぶつけた。
	［被災程度］ 右足関節外果骨折
	［服装・装備］ 作業服上下、保安帽、スパイク付き地下足袋、皮手袋
原因及び対策	［発生原因］ ・鋼製マット上でスパイク靴が滑るという認識がなかった。 ・作業効率を優先し、移動距離短縮のため鋼製マットが重なっている斜面に足を踏み入れた。 ・鋼製マットを傾斜地に仮置きしても問題ないと考えた。 ・作業通路を確保しなかった。（作業通路確保の重要性を認識していなかった） ・乗込み時教育等における作業班に対する安全教育が不足していた。 ・TBM-KY時、鋼製マット上の歩行の危険性について共有しなかった。
	［再発防止対策］ ・仮設材を仮置きできる平坦な場所や作業通路を確保する。 ・やむを得ず傾斜地に仮設材等を仮置きする場合は台木等を使用して水平に仮置きできるような対策を講ずる。 ・やむを得ず仮設材等を傾斜地に不規則かつ不安定な状態で仮置きする場合は、区画ロープ・カラーコーン等で立入禁止処置を講ずる。 ・乗込み時教育・現場パトロール時に、スパイク靴は鋼製マット等の上では滑り易いことを教育、指導する。 ・乗込み時教育・現場パトロール時に、いかなる場合でも省略行為をせず安全最優先で作業することを教育、指導する。 ・乗込み時教育において伐採作業はもちろんのこと仮設工事に限定した過去の災害事例や労働災害の再現CG動画を視聴し作業員の安全意識の向上を図る。

（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

災　害　概　要　図

発生状況

状況①

状況②

状況③